月刊 企業再生サポート情報

No. 0 0 2

2010, 05, 27

経営危機が起きてから対処する経営者のエネルギー(労力、時間、費用)と、起きる前に対処していた場合では、それは数百倍、数千倍の違いがあります。企業は、日々刻々と移り変わる状態変化に対応することで存続していますので、経営危機が突然発生したのではありません。

日常業務の流れの中で気になっていた小さな「危機の兆し」を、何も対処をしないまま放置しておいたことで、どうにも打ち消すことができない危機的状況になってしまう事例は少なくありません。

それには、経営危機の原因を生みやすい「土壌」を認識し、そこに潜んでいる危機の「芽」を見つけて、小さなうちにしっかり対処しておくことが大切なのです。

- ①経営者自身の日常行動や経営幹部の経営に対する意識度
 - ……経営者の公私混同、経営者の健康と老齢化、幹部の責任転化行動、違法な業務や取引
- ②「経理部門(出金)」の財務管理と財務バランス
 - ……2期連続の赤字、消費税の滞納、使途不明金の増加、支払手形の発行、経常赤字の連続
- ③「営業部門(入金)」の営業活動による情報収集と商品の問題点
 - ……死蔵品の増加、受取手形の増加、販売先の偏り、取引先の倒産、商品への苦情
- ④従業員に対する危機管理意識の教育、指揮統率の実戦と連携
 - ……トラブルの隠蔽、ホウ・レン・ソウの欠如、社員の規律の乱れ、社員の過剰な組合活動
- ⑤安全管理の不備により起きる人災や、災害などへの対処体制
 - ……責任者不在、教育訓練の不足、設備機器の老朽化と整備不良、行政からの勧告

経営者の一番身近な立場で相談を受けている会計事務所は、顧問先の財務状況を詳らかに知る立場にあるわけですから、財務諸表の作成を通して見える をいち早く知ることになります。

月次の会計処理業務から次のことを発見したら、それが経営危機の芽であることを経営者に対して書面によって伝え、具体的な解決方法のサポートを義務があるのではないでしょうか。

- ② ……社長からの借入金が異常に多いのは、背景に高利の金融からの調達があれば破綻懸念大。
- ③ …高利の金融や『恩借り』への弁済、儲け話への投資、遊興費、恐喝などは要注意。
- ④ …商取引以外の10万円、100万円刻みの手形に注意。融通手形の発行は会社を潰す。
- ⑤ ……2期以上に亘って消費税が滞納している場合は危機状態。預金、売掛金の差押えに注意。
- ⑥ ……営業活動に根本的な問題がある。2期以上、連続赤字の場合はジリ貧の可能性大。

「神風よ吹いてくれ!」と念じ続けてきた経営者が"絶体絶命"と観念した時、社員の給料も支払えなかったり"破産申立"の為の費用さえ捻出できないようでは、再起への道を作ることさえ危ぶまれます。

"破産"しないようにするには「経営危機の芽」を早期に解決しておくことです。万一、手遅れとなった場合でも"善い倒産"の仕方をしておけば、再起へ向けて新たな道が開けることになるでしょう。

お問い合せは「ビジネス会計人クラブ・事務局」へお願いいたします。

B. A. C『企業再生・整理・再起』支援チーム http://kigyo-saisei. seesaa. net/